

別表 2

国別調整機構(CCM)の効果確認表

構成と説明	
<p>全ての団体から国別調整機構(CCM)の代表者が選ばれているか</p> <ul style="list-style-type: none"> —研究/教育セクター —政府機関 —NGO/コミュニティを基盤とした組織 —HIV/エイズ、結核、マラリアと共に生きる人々 —民間セクター —宗教/信仰を基盤とした組織 —国内の複数の開発パートナー <p>メンバーリストの添付(団体名を含める)</p> <p>—もしない場合、その状況を解決するための方法を示す</p>	<p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p>
GCM メンバーの女性比率	比率
CCM メンバーの非政府セクターからの代表者の比率	比率
<p>非政府セクターを代表する CCM メンバーは、透明性のある過程を通じた文書化の方法に従って(要添付)、その団体によって選ばれたものか</p> <ul style="list-style-type: none"> —研究/教育セクター —政府機関 —NGO/コミュニティを基盤とした組織 —HIV/エイズ、結核、マラリアと共に生きる人々 —民間セクター —宗教/信仰を基盤とした組織 <p>もし無い場合、選出過程を示す代わりにあるものがあるかどうか</p>	<p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p>
<p>CCM は国/州/地区からの代表を含んでいるか</p> <ul style="list-style-type: none"> —もし含んでいれば、そのリストを添付 —含んでいなければ、その状況を解決するための計画を示す 	はい/いいえ
<p>GCM メンバーのリストは</p> <ul style="list-style-type: none"> —国内で公表されたか —世界基金の事務局に提出されたか <p>もしされていないならばその状況を解決するために何を行うか</p>	<p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p>
<p>各団体の最高レベルから代表者が送られているか</p> <ul style="list-style-type: none"> —研究/教育セクター —政府機関 —NGO/コミュニティを基盤とした組織 —HIV/エイズ、結核、マラリアと共に生きる人々 —民間セクター —宗教/信仰を基盤とした組織 —国内の複数の開発パートナー <p>もしない場合、その状況を解決するために何を行うか</p>	<p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p>
<p>過去 12 ヶ月に渡って CCM の会議に高官が定期的に(半数を超える会議に)出席したか</p> <ul style="list-style-type: none"> —研究/教育セクター —政府機関 —NGO/コミュニティを基盤とした組織 —HIV/エイズ、結核、マラリアと共に生きる人々 —民間セクター —宗教/信仰を基盤とした組織 —国内の複数の開発パートナー <p>もしない場合、その状況を解決するために何を行うか</p>	<p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p> <p>はい/いいえ</p>

参加とコミュニケーション	
CCM が定期的な会議を行っているか もし行っていれば下記をチェックする ー一年に一回 ー一年に二回まで ー一年に四回まで ー一年に四回を超える もし行っていないならば、その状況を解決するために何を計画しているか	はい/いいえ
CCM のメンバーは重要な書類(議事録、資金受入責任機関(PR)の支出報告、現地監査機関(LFA)の監査、支払決定書類)を閲覧することができるか ーできるのであれば、どのようにそれを保証するか ーもしできないのであれば、その状況を解決するために何を計画しているか	はい/いいえ
CCM の全ての参加団体は、CCM メンバーとの協議過程を記録することができるか ーできるのであれば、どのようにそれを保証するか ーもしできないのであれば、その状況を解決するために何を計画しているか	はい/いいえ
世界基金に関わる関連情報は国内全ての関係者が利用できるか ー申請を要求する ーCCM により決定される ー承認された申請案件を通知する できるのであれば、どのようにその情報が使用できるのか もしできないのであれば、その状況を解決するために何を計画しているか	はい/いいえ はい/いいえ はい/いいえ
CCM の参加団体はその関与レベルに満足しているか(申請案件の進行と実施の監視) ー研究/教育セクター ー政府機関 ーNGO/コミュニティを基盤とした組織 ーHIV/エイズ、結核、マラリアと共に生きる人々 ー民間セクター ー宗教/信仰を基盤とした組織 ー国内の複数の開発パートナー ーできるのであれば、どのようにそれを評価し、記録するか ーもしできないのであれば、その状況を解決するために何を計画しているか	はい/いいえ はい/いいえ はい/いいえ はい/いいえ はい/いいえ はい/いいえ はい/いいえ
管理運営	
議長と副議長は異なる団体の出身であるか ーもしそうでないならば、その状況を解決するために何を計画しているか	
資金受取責任機関(PR)は議長や副議長が兼任しているか ーもししていれば、固有の利害の抵触に対してそれを緩和する計画書があるかどうか(添付する)	
CCM の事務局は指定されたスタッフによって支援されているか ーそうであれば、どのようにしているのかを説明する ーもしそうでないならば、その状況を解決するために何を計画しているか	

<p>管理運営</p>	
<p>議長と副議長は異なる団体の出身であるか ーもしそうでないならば、その状況を解決するために何を計画しているか</p>	<p>はい/いいえ</p>
<p>資金受取責任機関(PR)は議長や副議長が兼任しているか ーもししていれば、固有の利害の抵触に対してそれを緩和する計画書があるかどうか(添付する)</p>	<p>はい/いいえ はい/いいえ</p>
<p>CCMの事務局は指定されたスタッフによって支援されているか。 ーそうであれば、どのようにしているのかを説明する ーもしそうでないならば、その状況を解決するために何を計画しているか</p>	<p>はい/いいえ</p>
<p>CCMは委任事項(TOR)/規約/運営上の手続きが書かれた書類を持っているか ー持っているのであれば、下記を含むか(チェックし、添付する) ・議長/副議長を選出するための手順 ・意思決定の機構 ・関係する協力団体に対しての役割と責任の定義 ・利害の抵触の方針 ・すべてのメンバー/参加団体の等しい選挙権 ・倫理的行動のガイドライン もし持っていないならば、その状況を解決するために何を計画しているか</p>	<p>はい/いいえ</p>
<p>CCMは下記に対して文書化された透明性のある過程を持っているか(添付する) ・案件申請形成の中で、結合可能な案件の提出を要求し、検査する過程 ・資金受取責任機関を推薦する過程 ・プログラムの実施の監視の過程 もし無ければ、その状況を解決するために何を計画しているか</p>	<p>はい/いいえ はい/いいえ はい/いいえ</p>
<p>CCMは広い範囲の関係者の入力を確定するための文書化された透明性のある過程を持っているか(添付する) ー申請案件形成の中で下記を含む ・CCMのメンバー ・非CCMメンバー ー監視過程で下記を含む ・CCMのメンバー ・非CCMメンバー ーもしなければ、その状況を解決するために何を計画しているか</p>	<p>はい/いいえ はい/いいえ はい/いいえ はい/いいえ</p>
<p>CCMは文書化された利害の抵触についての方針を持っているか ーもし持っているのであれば、添付する ー持っていないければ、その状況を解決するために何を計画しているか</p>	<p>はい/いいえ</p>

別表 3

世界基金の常任理事のための重要な効果の指標

	目的	測定基準 (KPI)	2005 年のターゲット	比重
結果と現れる効果	・三大感染症を抑制し、治療するための効果的な手段の迅速な拡大に資金提供する	・第一次助成によって達成したターゲットの比率(18ヶ月の効果の評価に基づく)	・各プログラム全体で 65%	20%
中心的な事業	・増加: 世界基金の任務を実施し、国のニーズに適合するための十分な資源の流通	・2005 年の資金提供のニーズに貢献した比率 ・2006 年の現時点でのニーズと次期契約のニーズの比率	・100% ・70%	40%
	・出費: 効果的な助成運営を通じた高い効果を持つ助成への支払いの拡大	・第一期～第4期募集助成に対して支払った合計金額 ・助成の承認から初めの支払いにかかった平均時間	・11 億ドル(2005 年のみ) ・<6ヶ月	
	・証明: 効果に基づいた資金提供を現実のものにする	・受領者の効果の証明と支出(第二次受領者への支払いを含む)に基づいた 2 回目、そしてそれに引き続く支払い	・95%	
	・情報伝達: 一貫して外部機関との情報伝達を促進する	・定期的な助成の進行の更新を含んだ全ての重要な報告がウェブサイトで適時利用できる	・時間通り: 80%	
開発と革新	・継続した成功を得るための戦略開発	・将来の募集も含めて、ターゲットと標識を備えているあらかじめ定義された 3 年戦略の完了	・2005 年 7 月までに、理事会の監査で戦略の文書化が完了する	20%
組織と人材	・最も良い実行を促進する組織の管理	・理事会、委員会を支援する事務局の定期的な品質の監査	・「非常に良い」、あるいは「十分」の比率は 70%	20%
	・組織的な能力の開発と、任務に利益をもたらす人材の育成	・完全に独立した団体へ移行するための計画の完了 ・目的と結果、能力、開発の年次調査を規定したスタッフの割合 ・内部スタッフの職業的な満足度と意欲の調査 ・管理下にある助成に対する運営費の割合と、合計支出に対する運営費の割合 ・あらかじめ同意されている 3 項目の多様性のターゲット(性別、民族、地域)*に対する効果	・2005 年 11 月までに計画の完了 ・90% ・70% が「非常に高い」もしくは「高い」 ・<3%、<10% ・ターゲットの 80% を満たす	

世界基金の理事会と責任を共有している

*詳細に説明されたターゲットのデータを入手できる

別表 4

世界基金の理事会のための重要な効果の指標

	目的	重要な効果の指標	2005 年のターゲット
結果と 現れる 効果	三大感染症を抑制し、治療するための効果的な手段の迅速な拡大に資金提供する	第一次助成によって達成したターゲットの比率(18ヶ月の効果の評価に基づく)	各プログラム全体で 65%
中心的な 事業	世界基金の任務を実施し、国のニーズに適合するための十分な資源の流通 国レベルでの実施の支援	2005 年の資金提供のニーズに貢献した比率 2006 年の現時点でのニーズと次期契約のニーズの比率 国別調整機構(CCM)の会議で認めた効果の標準比率	100% 70% 75%
開発と 革新	世界基金のための 3 年戦略の承認(事務局の草案に基づく)	将来の募集も含めて、ターゲットと標識を備えているよく定義され、同意された 3 年戦略の承認	2005 年 11 月までに、理事会に承認される戦略
組織と 人材	地理的な管理と効果的な意思決定を通じた最も良い実行をもたらす管理体制を達成する	理事会と委員会の機構の実効性の理事会による年次内部調査	80%の率で「効果的」あるいは「大変効果的」

別表 5

助成の効果報告サンプル—ガーナ

一般的な助成情報	
助成番号:	GHN-102-G01-H-00
助成の表題:	HIV/エイズに苦しむ全ての人々への予防、ケア、支援、治療の促進
対象:	HIV/エイズ
助成募集期間:	1
資金受入責任機関:	保健省/ガーナ保健サービス
受領期間の運営費:	14,170,222
2年間:	4,965,478
プログラム開始日:	2003年6月1日

プログラムの説明、目的、ターゲット、結果

プログラムの説明の要約

ガーナにおいて、2000年の国家 HIV 罹患率は3%と見積もられており、1994年の2.7%から上昇した。異性間の感染は75~80%であり、母子感染(MTCT)は15%を数える。エイズ症状の数の増加が予想され、医療従事者の仕事量が格段に増加するだろう。また、在宅ケアと住民を巻き込んだ対策の必要性も強くなっている。HIV/エイズとともに生きる人々(PLWHA)は2002年には取るに足らない数であり、日和見感染(OI)の治療の受診や抗レトロウイルス(ARV)薬の供給が可能であった。

世界基金による資金提供の対象となる HIV/エイズプログラムの目的は、HIV 感染に最も被害を受

けたグループに対する予防サービスの利用者数を増加することであり、すでにウイルスと共に生きている人々のためのケアと支援を改善することである。試験的プログラムを2地点から24地点に広げることで MTCT の予防を増加させ、現在4地点で運営されている自発的カウンセリングとテスト(VCT)を24箇所にまで増加する。プログラムは出産年齢の女性といった若者を標的としており、こういった人々は性的に活発で、PLWHA は全国的に広がっている。

プログラムの目標と現れる効果の指標								
目標 1	HIV 感染の被害を受けているグループに対して予防とケアサービスの両方で、その利用者数を増加させ、より多くの需要を発生させ、すでにウイルスと共に生きている人々のためのケアと支援を改善することである	基準		ターゲット				
		数値	年	1年	2年	3年	4年	5年
効果の指標	投薬計画に従う人々の割合	—		40%	90%	95%	98%	98%
効果の指標	発症して6、12、24ヶ月に治療中である人々の比率	—		50%	90%	96%	96%	96%
効果の指標	治療を開始してから6ヶ月で少なくとも10%体重が増加した抗レトロウイルス治療を受けている成人の比率	—		50%	90%	90%	95%	95%
効果の指標	HIV に感染した母親から生まれた HIV に感染した乳幼児の減少率	—		40%	60%	80%	80%	80%
効果の指標	HIV 罹患率の予想された増加の軽減	2.9%	2000	3.4%	3.6%	3.8%	3.9%	3.9%

プログラムの目的、サービス配布領域、指標、ターゲット

目的 1		国内の各地域に少なくとも一か所、そして自発的カウンセリングとテスト(VCT)サービスを 4 地点から 24 地点まで増加すること									
サービス配布領域 1		予防: カウンセリングとテスト									
指標の分類	指標	基準		ターゲットの結果	期間 1	期間 2	期間 3	期間 4	期間 5	期間 6	二年後のターゲット
		数値	年								
3	テストとカウンセリング過程を完了した人々			ターゲットの結果	160 0	480 0	800 745	1400 1745	3200 4937	4960 6698	5560
2	カウンセリングとテストを運営する場所を持つ地区の数	4	200 2	ターゲットの結果	2 0	4 1	6 8	8 8	10 8	12 8	16
1	訓練されたサービス実施者の数			ターゲットの結果	12 12	24 24	36 77	48 104	60 104	72 104	96

目的 2		母子感染予防(PMTCT)試験プログラム拡大すること									
サービス配布領域 2		予防: PMTCT									
指標の分類	指標	基準		ターゲットの結果	期間 1	期間 2	期間 3	期間 4	期間 5	期間 6	二年後のターゲット
		数値	年								
3	テストとカウンセリング過程を完了した女性			ターゲットの結果	253 406	353 804	500 1459	1000 3765	3000 4067	4000 4399	6000
2	MTCT のリスクを減少させるため抗レトロウイルス予防の全課程を受けた HIV 感染妊婦			ターゲットの結果	150 0	300 0	450 119	600 250	750 552	900 884	1200
1	訓練されたサービス実施者の数			ターゲットの結果	10 10	20 23	30 77	40 104	55 104	85 104	100

プログラムの目的、サービス配布領域、指標、ターゲット

目的 3		日和見感染(OI)と抗レトロウイルス(ART)を含む総合的医療を提供する、少なくとも二か所で運営されるセンターを作ること									
サービス配布領域 3		治療:日和見感染に対する予防と治療									
指標の分類	指標	基準		ターゲットの結果	期間 1	期間 2	期間 3	期間 4	期間 5	期間 6	二年後のターゲット
		数値	年								
3	日和見感染の予防と治療を受けている人々(数と比率)			3000	9000	1800366	30001178	45003616	63006404	10300	
2	HIV/エイズのための基本レベルのカウンセリングと医療サービスを提供するための能力を持つ保健医療施設			00	10	22	22	54	84	14	
サービス配布領域 4		治療:抗レトロウイルスの治療とモニタリング									
指標の分類	指標	基準		ターゲットの結果	期間 1	期間 2	期間 3	期間 4	期間 5	期間 6	二年後のターゲット
		数値	年								
3	抗レトロウイルスを組み合わせた療法を受けた重度のHIV感染症状をもつ人々(数と比率)			3000	6000	900229	1200595	15001032	19001173	3200	
2	HIVに感染した人の予防と医療のための高度な診療を提供する能力のある保健医療施設			00	10	22	22	44	64	10	
1	訓練されたサービス実施者の数				5050	5088	100140	130140	130140	130	
サービス配布領域 5		ケアと支援:慢性疾患とその家族のためのケアと支援									
指標の分類	指標	基準		ターゲットの結果	期間 1	期間 2	期間 3	期間 4	期間 5	期間 6	二年後のターゲット
		数値	年								
3	結核高負担国(HBC)を受けている人の数			00	300200	450529	500894	750894	1000894	2000	
2	在宅ケアを有する地区の数			66	1210	2034	2834	3834	4844	70	
1	HIV/エイズと共に生きる人々(PLWHA)の在宅ケア訓練を受けた人の数			9024	90153	120153	120153	170153	170153	240	

